TM（確かな学び）公開授業（2019 年 10 月 31 日実施）

今年度で４年目となった「スクール・エンパワーメント推進事業」。この事業は、「大阪府教育委員会が府内公立小中学校のうち、学力向上に向けた取組み等を保護者・地域等と共有しながら、新しい時代に必要となる資質・能力を育成する取組みを積極的に推進する学校に教員を配置し、開かれた学校づくりをすすめ、子どもたちの『学びに向かう力』を育み、『確かな学力』の定着を図り、学力向上をめざすことを目的とするもの」であります。

今回の公開授業は、４年間の集大成となるものでした。各学級での公開授業のあと、この４年間の取り組み内容を報告しました。

当日は多くの学校から先生方が授業参観と報告を聞きに来られました。

〇本校職員の感想から

・道徳スタンダードでも感じますが、学校としてこうしよう !! という事を確認する大きな機会となりました。とは言え、まだ自分としてはできていないなと感じた部分もあるので、今後の課題として忘れないようにしようと思います。発表を聞いていると、内容の説得力もさることながら、国中の学力向上に関する取り組みは本当にすごいことなんだなと思いました。

・こういった機会に、「日頃大切にすべき事（授業で）」を確認することができたので良かったと思います。教師側が「全体として協力して取り組んでいる姿勢」は、子どもたちに良い意味で伝わっている気がします。

・この 4 年間を含め、これまでの様々な取り組みの成果が今、出ていると思います。維持するのは作り出すより難しい要素があると思います。人が変わっても成果が失われないように、組織づくりが必要と感じました。

・今回、道徳で公開授業をさせていただきましたが、ここ数年の流れから、相談できる場があったり、見に来ていただきアドバイスしていただける環境があることが、ありがたいです。道徳という全ての教員で行っていく教科が、４教科の教員にとってはとてもありがたいです。

・めあて、振り返りにあわせて、「見通しある授業」というのも、授業スタンダードに入っています。ホワイトボード、黒板に本時の流れが示され、見通しがもてて、分かりやすい授業が今後も展開されたらいいなと思います。特に、ホワイトボードについては年度初めに購入していただいたこともあり、いい活用がされていくことを期待しています。今日の授業でも流れを示されているクラスがとても多かったです。

・４年間、本当に様々な取り組みをしてきたんだなと改めて思いました。家庭学習帳については、内容ややり方については改良の余地があると思いますが、しっかりと根付いていて、子どもたちも抵抗なく家で勉強ができるようになっていると思います。また、道徳の授業の進め方も定着していて、本校の財産となっていると思います。

・発表後も反響があり、４年間の取り組みで私たち教員の授業に対する意識がかなり統一され、授業力向上に結びついていると感じます。「家庭学習帳」「学校と家庭を結ぶ学習の手引き」「道徳スタンダード」「国中授業スタンダード」を大切に、毎日の当たり前をコツコツと積み重ねていけたらと感じています。

・今回の発表で思ったことは、このような素晴らしい結果が出せたのは、一つ一つの取り組みの積み重ねがあったからだと思います。学校全体で生徒が安心して学べる環境があって、初めて学力が伸びるということを実感しました。これからは一人一人の教師が今よりも質の高い授業をつくっていくことが大切だと思います。そうすることで、もっと学びやすい学校になるのではないでしょうか。この半年でとても勉強させてもらったと感じています。

・学力向上のための取り組みがよく分かる発表でした。各クラスの日頃の頑張りが見える授業でした。

・研究授業をすることで、自分の授業の課題や国中で大切にしている実践を確認する良い機会となりました。